

SDQ：わが国における標準化データ

4-5 歳児データ（東京）

この地域サンプルは、東京西部の郊外にある幼稚園もしくは保育園 78 園のうち、64 園の協力により得られた。全園児（4-5 歳）の保護者に SDQ 全項目の回答を求め、SDQ の全項目・年齢・性別に欠測のない 1335 名のデータを有効回答とした（回答率は 48%）。同様に、同地域の園の教師に、保護者の同意を得たうえで、担当するクラスから 4 名の児童（男女 2 名ずつ）を所定のルールに基づいて選んで SDQ 項目の回答を依頼した。61 園（112 クラス）の教師から回答が得られ（回収率 95%）、SDQ の全項目、年齢、性別に欠測のない 402 名のデータを有効回答とした。

飯田悠佳子, 森脇愛子, 小松佐穂子, 神尾陽子：わが国の就学前幼児(4-5 歳)における保護者及び担任評定にもとづく Strength and Difficulties Questionnaire の標準化. 平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 精神障害分野「就学前後の児童における発達障害の有病率とその発達の变化：地域ベースの横断的および縦断的研究（研究代表者：神尾陽子）」総括・分担研究報告書, pp33-41, 2014 年 3 月.

7-15 歳児データ（全国）

10 都道府県にまたがる 148 の小学校及び 71 の中学校の協力で得られたデータをもとにしている。全児童・生徒（7-15 歳）の保護者に SDQ 全項目の回答を求め、SDQ の全下位尺度・年齢・性別に欠測のない 24,431 名のデータを有効回答とした（回答率は 28%）。回答者は、母親（91%）、父親（8%）、両親（0.7%）、その他（0.6%）であった。保護者の同意のもとに担任教師に回答を依頼し、219 校中 211 校の教師から回答が得られた（回答率は 78%）。SDQ の全項目、年齢、性別に欠測のない 7885 名のデータを有効回答とした。

Moriwaki A, Kamio Y. Normative data and psychometric properties of the Strengths and Difficulties Questionnaire among Japanese school-aged children. *Child and Adolescent Psychiatry and Mental Health*.2014, 8:1.doi: 10.1186/1753-2000-8-1